(別紙4(2))

事業所名:グループホーム華まつばら

目標達成計画

作成日: 令和 元年 7月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	2	地域とのつながりを強くすることは、地域密着型施設の使命であり、理念にも書かれている。事業所の周辺の環境は大きく変化している途中なので、改善に向かって今後も取り組みを継続していくことを望む。(外部評価結果より)	日常生活の中で地域住民との交流を広げる	①職員の出退勤では、近隣の方へのあいさつを継続して積極的に行う。 ②入居者様との散歩など外出機会でも、職員から積極的に挨拶や話しかけを行い、地域に溶け込む努力を続ける。 ③夏祭りや消防訓練などの機会に施設活動を知って頂/マナウンスを継続する。	12ヶ日
2	4	運営推進会議の内容を広く入居者様家族に 知って頂くことで、より施設運営に理解や協力を 得られるのではないか。(訪問調査時に調査員 からご指摘頂いた点)	運営推進会議など施設運営に関わる情報を 広く発信しさらなる理解・協力を得る	①運営推進会議の議事録をご家族様にお渡しし、必要に応じて内容を説明する。 ②家族会などご家族様に参加頂く行事を活用し、施設の運営状況を説明する機会を作る。	12ヶ月 (永続的に)
3	34	利用者の急変や事故発生時に備えた研修を実施しているが、実践力の身に付けるところまでは至っていない。	緊急時対応における介護の実践力を高める	①法人における研修への参加をさらに促進する。 ②研修内容に実技を取り入れ、反復練習を実施する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。